

第2章 三笠市の概要

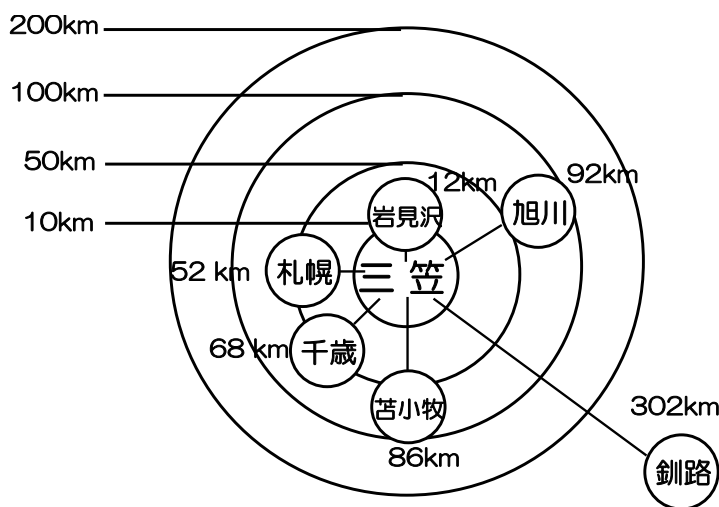
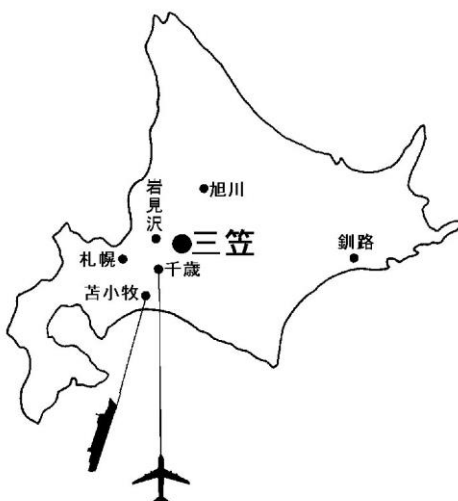
第1節 位置と地勢

本市は北海道のほぼ中央、石狩平野の東北部、空知地方の南部に位置しています。

隣接する市町村は東南北に、芦別市、夕張市、西南に岩見沢市、北方に美唄市があります。

地勢は東南北を諸山脈に囲まれている盆地で丘陵が多く西方にいたりやや平坦になっており、市の中央を貫流している幾春別川はその源を桂沢湖に求め、他の溪流と合わせて岩見沢市にいたっています。この流域は地味豊かで農耕地として経営され、また東南北の大樹林とともに天恵の大富源地となっています。

気候は日本海側の内陸性冷温帯気候区に属していて、夏と冬の寒暖差が大きく、冬季の降雪量が多くなっています。



交通

札幌まで52km
(高速道路42km 30分)
千歳まで68km
(高速道路77km 60分)
苫小牧まで86km
(高速道路89km 70分)

第2節 歴史

1億数千年前、本市がまだ、海の下にあった頃、アンモナイト（イカ・タコの親戚）が遊泳し、エゾミカサリュウ（大型肉食爬虫類）が往来をしていました。時は流れ、地殻変動を繰り返しているうちに、地球は「石炭」というエネルギー資源を作りだしていました。それから、またゆっくりと時は流れ、人の目は北海道の開拓に向けられました。

明治元年に、幌内で燃える石「石炭」の炭層の露出面が発見され、明治12年に幌内炭鉱が開鉱されるとにわかには人の往来が盛んになり、明治15年6月に市来知村が開村されました。このときが三笠市の誕生です。

この年の6月に、北海道開拓を目的として空知集治監（現在の刑務所）が市来知（いちきしり）に設置され、11月には幌内炭鉱から掘り出された石炭を輸送するための鉄道が手宮（小樽）間に北海道で最初（全国で3番目）に開通しました。

明治19年には幾春別炭鉱が開鉱し、以来石炭のまちとして栄えてきました。昭和32年には桂沢ダムが完成し、湖が誕生。その桂沢湖周辺からはアンモナイト化石やエゾミカサリュウ（国の天然記念物に指定）等の化石が発見され、アンモナイト化石のまちとしても注目を集めています。

第3節 名前の由来

空知集治監にあった裏山が奈良の三笠山に似ているということから、囚人が望郷の念をこめて当時から三笠山と呼んでいました。

明治39年、市来知・幌内・幾春別の三村合併のときにこの山の名を取って三笠山村としました。

昭和17年に三笠町が誕生し、昭和32年に三笠市（北海道内で22番目の市）となりました。

第4節 三笠市のあゆみ

明治12年に幌内炭鉱が開鉱し、その後石炭の採掘が盛んになるとともに、空知集治監の建設が決まった明治15年になると、獄舎や官舎の建設に伴い、商店や旅館ができ、86戸617人の集落ができました。

このため、空知郡に戸長役場を設置することが検討された結果、明治15年6月21日に市来知村の設置が決定されました。

この市来知村の誕生から、130年が経ちました。

●三笠のあゆみ年表

明治 15 年	6 月	市来知村開村
	7 月	空知集治監開庁
	11 月	幌内～手宮間鉄道完成
17 年	9 月	市来知外一村戸長役場を市来知村に設置
21 年	12 月	幌内太～郁春別間鉄道完成
39 年	4 月	市来知、幌内、幾春別三村合併、三笠山村となる。
昭和 17 年	9 月	町制施行、三笠町となる。
32 年	4 月	市制施行（道内 22 市目）。桂沢ダム完成し、貯水を開始
37 年	2 月	桂沢湖が富良野芦別道立自然公園に編入
44 年	8 月	三笠高校野球部が全国高校野球甲子園大会に初出場
47 年	6 月	三笠工業団地造成開始
51 年	6 月	エゾミカサリュウの化石発見
52 年	12 月	三笠市の木に「ナナカマド」、花に「キク」を制定
56 年	3 月	三笠市民憲章制定
62 年	6 月	JR 幌内線廃止
	9 月	道央自動車道三笠インターチェンジ利用開始
平成元年	9 月	幌内炭鉱閉山（最後の炭鉱閉山）
2 年	7 月	中国恐竜と三笠アンモナイト展を開催（会期：92 日間）
5 年	4 月	道道夕張芦別線が国道昇格（国道 452 号）
	4 月	サンファーム三笠が『道の駅』指定（北海道第 1 号）
	7 月	第 1 回北海盆唄全国大会を開催
12 年	1 月	三笠市キャッチフレーズ「クリーン・グリーン三笠」を決定
	6 月	三笠市シンボルマークを決定
14 年	8 月	第 1 回三笠北海盆おどりの開催
17 年	4 月	岡山・萱野小中一貫教育特区による教育の開始
20 年	7 月	パークゴルフ場「サン・パーク」オープン
21 年	4 月	「三笠市未来づくり基本条例」制定
23 年	4 月	三笠市立博物館リニューアルオープン
23 年	6 月	三笠市開庁 130 年記念式典

